

接続期プログラム

		前	期
月	10月～		
期	友達とのつながりを感じながら活動する中で自信をもち、自分の力を十分に発揮していく時期		
育てたい力		<p>●見通しをもって、自分で生活を進めていくこうとする</p> <p>●友達と話し合いながら遊びや生活を進めていく中で、自分とは違う考えに気付いたり、思いを共有したりする</p> <p>●いろいろなことに自分から働きかける</p>	
ねらい		<p>●友達と話し合ったり力を合わせたりしながら、一緒に遊びや生活を進める楽しさを味わう</p> <p>●5歳児としての自覚を高め、自信をもって行動する</p>	
内容 (事例集に具体例を記載)		<p>●自分なりに見通しをもって生活する(事例1)</p> <p>●友達と一緒に遊ぶ中で生じた課題を自分たちで解決しながら、繰り返し遊ぶ(事例2)</p> <p>●きまりをつくり変えたり、役割を考えたりしながら生活しようとする</p> <p>●自分の考えを相手に分かるように伝えたり、友達の思いを受け入れたりする</p> <p>●学年全体での取り組みを通して、友達と楽しさを共有したり、達成感を得たりする</p>	
環境の構成のポイント		<p>●自分たちで見通しをもって行動できるよう、1ヵ月の大まかな予定を提示したり、生活予定表を活用したりしていく</p> <p>●遊びや活動の中で工夫している点や努力している点を話し合いの場などで伝えながら、互いの良さを認め合える雰囲気をつくっていく</p> <p>●文字や数量などに興味や関心がもてるような遊びを提示したり、遊具や用具などを準備したりする</p>	
教師の援助のポイント		<p>●5歳児としての自覚が高まるよう、行事などに向け意欲をもたせる言葉かけをしたり、はりきって活動する姿を認めたりする</p> <p>●自分たちで協力し課題解決しながら遊びを進める楽しさを感じられるよう、友達とルールをつくり変えたり役割を分担したりしている姿を認め、広めていく</p> <p>●様々な活動の場で自分たちできまりをつくることができるよう、必要に応じて教師も一緒に考えたり、互いの思いを確認したりする</p> <p>●いざこざになった時、幼児同士で解決していくことができるよう、事実内容を確認した後、判断を幼児に任せ見守る(※見守る…側で幼児の様子を見取りながら、必要に応じて関わること)</p>	
家庭との連携		<p>●就学時健診をきっかけとして小学校生活との違いを伝え、自分の持ち物を自分で準備したり、通学する方法で登園したりすることに取り組むよう伝えることで、少しずつ就学に向けて意識することができるようとする</p> <p>●個別懇談などで1年間の成長を振り返ると共に、小学校生活に向けて配慮する点や課題などを伝えていく</p>	

～環境と構成と教師の援助の関係性～

環境に教育的意図を込め 意図的に子供達に任せ
後から子供達だけで展開した内容を見取り 必要な援助を判断する
(堀越 2017)

生活する力

身の回りのことを自分で行い、
自分なりの見通しをもって、
集団の中で主体的に生活する力

関わる力

ひと・もの・ことと主体的・相互的に関わり、
自らの価値観を変容させていく力

学びに向かう力

好奇心・探究心・自己調整力など
個の心情・意欲・態度に関する力



		後	期	
月	期	入学式～4月下旬	～5月中旬	～7月
育てたい力	生活する力 関わる力 学びに向かう力	<p>新しい環境に慣れる時期</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい環境での生活の仕方を知り、自分なりに取り組む クラスの友達のことを知り、興味や関心をもつ 担任に親しみをもつ 新しい環境での生活に期待感をもち、楽しむ 小学校の生活環境に慣れる 担任やクラスの友達を知り、親しみをもつ 学習活動に興味や関心をもつ 教室や保健室、トイレ等の場所、自分の使用するものの位置や使い方を知る 安全な歩き方やバスマナーなどを知り、登下校の仕方を知る 自分で身の回りの整理や整頓をする 担任やクラスの友達の顔と名前を知り、話しかける 教師の話に关心をもち、聞く 新しい環境で安心して生活することができるよう、1日の過ごし方が日によって変わらないようにし、生活のリズムを掴みやすくなる 幼児期の生活から徐々に小学校生活に移行していくことができるよう、時間の使い方を工夫する（コミュニケーション活動の時間、生活科を中心とした合科的時間、教科等の時間等） 指示を出したり黒板を見て考えさせたりする時には、文字の理解の個人差に配慮し、視覚教材も使用する 	<p>学習に意欲的に取り組んでいく時期</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日の生活の見通しをもち、身の回りの整理整頓をする 自分が以外の人の考え方を受け入れたり参考にしたりする 関わりのある教師に親しみをもつ 学習内容に興味をもち、意欲的に取り組む 生活の見通しをもって行動する 身近な友達と関わりながら、人間関係を広げていく 学習活動に楽しさを感じ、意欲をもって取り組む 1日の流れを理解し、見通しをもって生活する 音楽室や体育館などへの移動の仕方を知る クラスに気の合う友達ができたり、新しい友達をつくったりする 自分の思いを自分の言葉で相手に伝える 当番や係活動に取り組む 分からないことや困ったことを教師や友達に尋ねる 時間割通りの生活へと徐々に移行していくことができるよう、教科等の時間を増やしていくなど、時間の使い方を変えていく 人間関係を広げていく機会となるよう、隣同士やグループなどで児童同士が関わりをもつことができるような活動を設定する 今までの経験を生かして取り組むことができるよう、児童の実態に応じた当番や係活動を設定する 学習内容に興味をもつことができるよう、児童の生活経験から学習内容を構成する <p>安心して生活することができるよう、床に座って集まる機会を設ける</p> <p>1日の予定や自分のすべきことが見て分かるよう、文字を少なくして絵や記号を使ったり、掲示物を少なくて見やすい環境をつくりする</p>	<p>これまでの経験を生かし、安心して学校生活を送っていく時期</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活に慣れ、安心して生活する クラスの友達と思いを伝え合いながら生活する 学習内容が身についていく楽しさを感じ、意欲的に学ぶ 自分で判断して行動する 友達思いや考え方を伝え合う 学習活動を通して、分かるようになることに喜びを感じる 1日の見通しをもち、安心して生活する 授業時間と休み時間の区別をつけて行動する 分かったりできるようになったりする喜びを感じ、自信をもって何事にも取り組む 友達と同じ目的をもち協力して活動する いざこざになった時に、教師と一緒に友達と話し合う 入学当初と比べ自分の成長を確認できるよう、1学期の生活を振り返る機会を設ける 自分の思いを相手に伝えたり、友達の意見を知ったりできるよう、自己表現の場を増やしていく 自分の作業に集中したり、友達と協力して活動に取り組んだりすることができるよう、授業内容に応じて机や教室の使い方を変える
環境の構成のポイント				
教師の援助のポイント				
家庭との連携				

